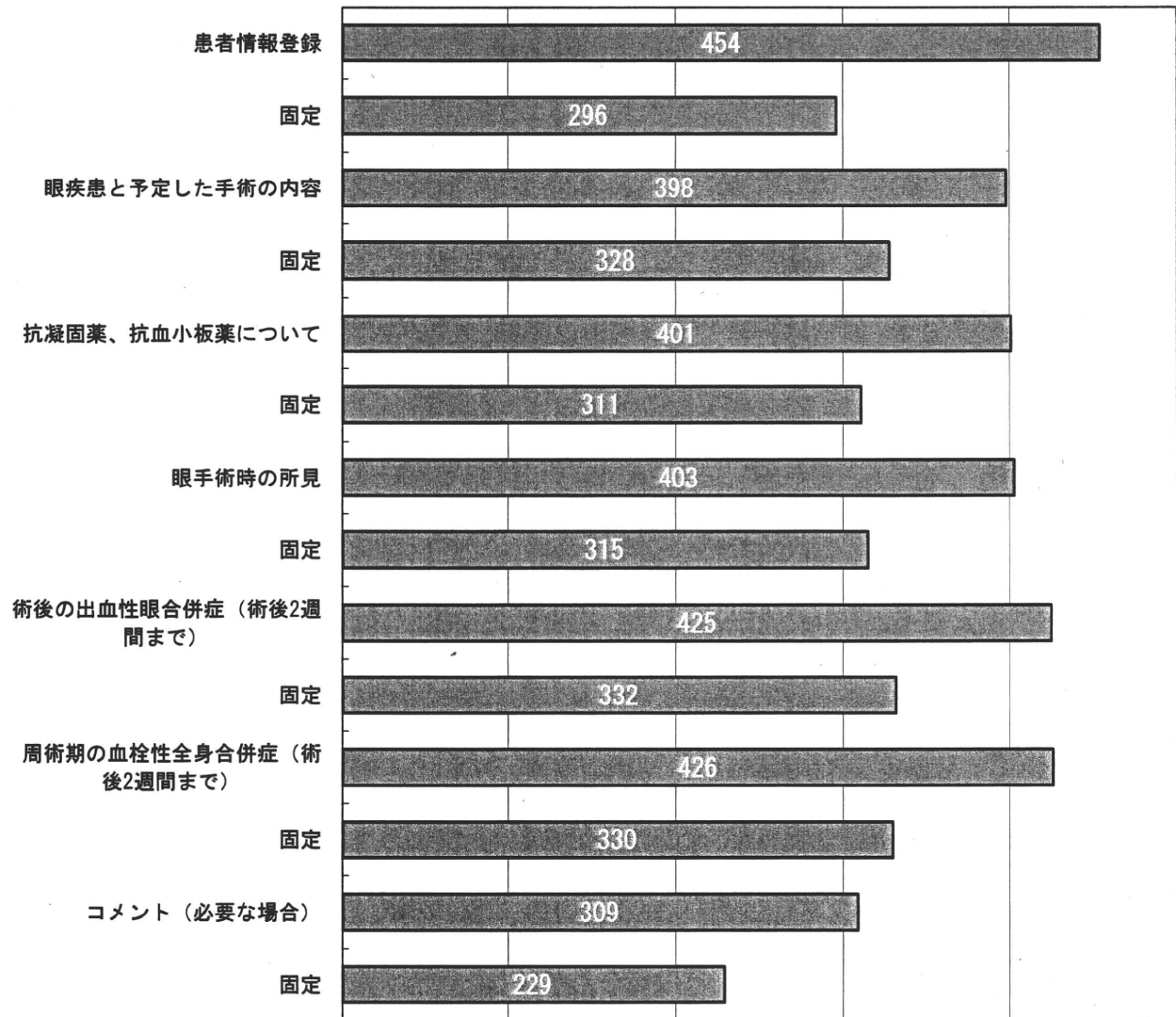


(2010年11月～2011年2月)

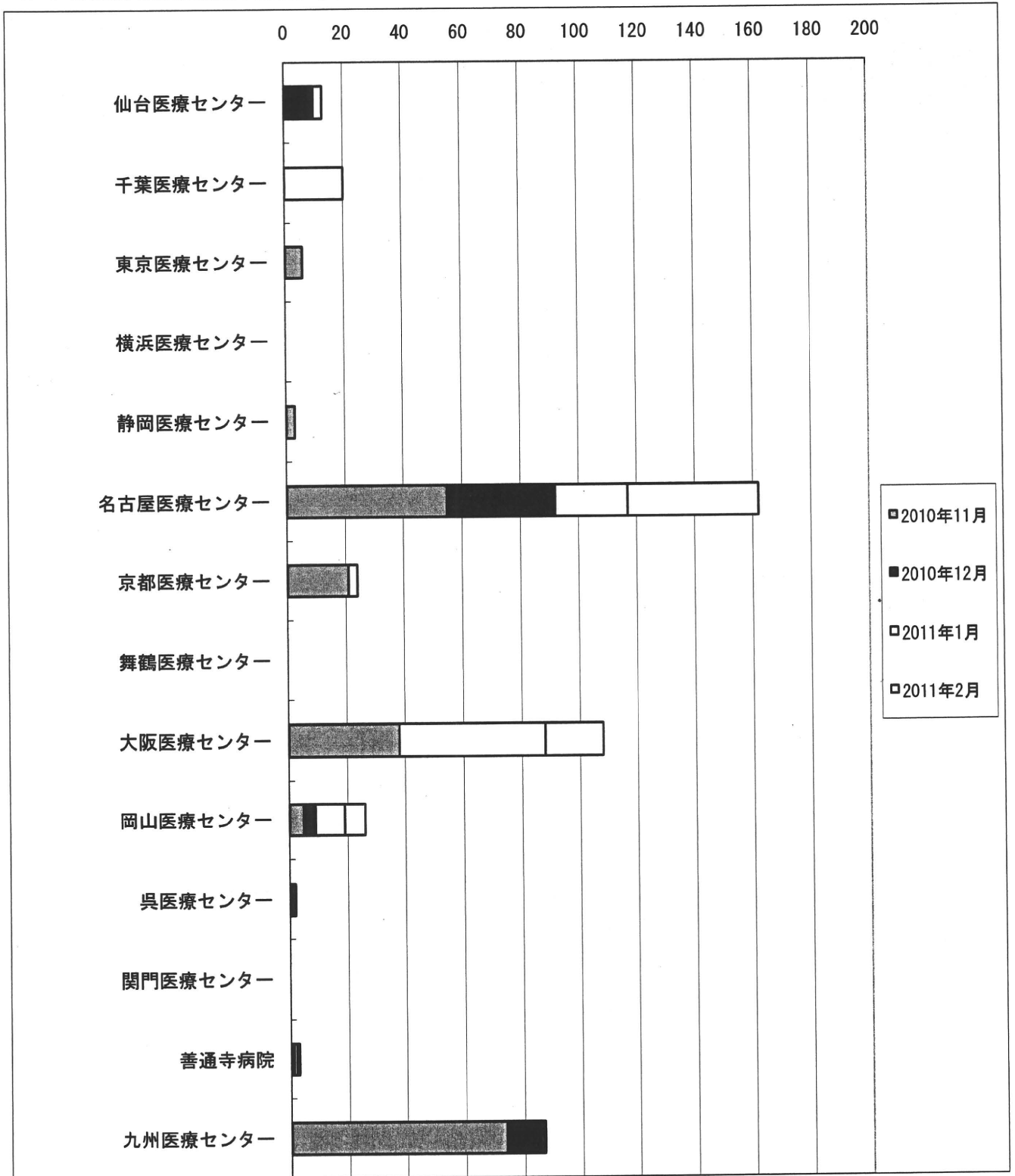
VISIT別入力状況

■2010/11/1～2011/2/28までのVISIT別入力状況

0 100 200 300 400 500



3-4 施設別(月別)新規登録状況(図)



3-5 施設別(月別)新規登録状況(表)

施設名	2010年		2011年	
	11月	12月	1月	2月
仙台医療センター	0	10	3	0
千葉医療センター	0	0	20	0
東京医療センター	6	0	0	0
横浜医療センター	0	0	0	0
静岡医療センター	3	0	0	0
名古屋医療センター	55	37	25	45
京都医療センター	21	0	0	3
舞鶴医療センター	0	0	0	0
大阪医療センター	38	0	50	20
岡山医療センター	5	4	10	7
呉医療センター	0	2	0	0
関門医療センター	0	0	0	0
善通寺病院	1	0	1	1
九州医療センター	74	13	0	0
合計	203	66	109	76

3-7 症例入力状況

施設名	登録済み 件数/固定	1 眼疾患と 手術内容	2 薬について	3 手術時所見	4 眼合併症	5 全身合併症	6 コメント
仙台医療センター	13	13	13	13	13	13	1
	13	13	13	13	13	13	1
千葉医療センター	20	20	20	20	20	20	20
	20	19	19	19	19	20	19
東京医療センター	7	7	7	7	7	7	7
	0	0	0	0	0	0	0
横浜医療センター	12	11	11	11	9	8	10
	0	10	0	1	1	1	1
静岡医療センター	7	7	7	7	7	7	7
	0	7	0	1	0	0	0
名古屋医療センター	253	237	235	237	236	237	236
	240	191	173	181	187	191	189
京都医療センター	33	31	31	31	31	32	26
	0	21	11	11	11	10	6
舞鶴医療センター	1	1	1	1	0	0	0
	1	1	0	0	0	0	0
大阪医療センター	108	90	90	90	90	90	90
	108	90	90	90	90	90	90
岡山医療センター	41	41	41	41	41	41	2
	1	35	35	35	33	35	0
呉医療センター	3	3	3	3	3	3	3
	3	3	3	3	3	3	3
善通寺病院	3	3	3	3	3	2	2
	0	3	3	3	2	2	0
九州医療センター	88	67	67	67	67	67	1
	3	66	59	63	58	54	0
関門医療センター	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0	0
合計	589	531	529	531	527	527	405
	389	459	406	420	417	419	309

※画面名

1:眼疾患と予定した手術の内容

4:術後の合併症

2:抗凝固薬、抗血小板薬について

5:周術期の血栓性全身合併症

3:眼手術の所見

6:コメント(必要な場合)

3-6 症例登録0件の施設

関門医療センター

4. 中止例:なし

5. モニタリング総括

5-1 データクリーニングに関するデータマネジャーからのコメント

ほとんどの施設から症例登録がなされている。また、前回報告時には入力画面の未登録が目立っていたが、徐々に登録がなされ、登録の方法について周知ができていると考えられる。

施設によって症例登録数にばらつきが見られるので、目標症例数達成へ向けて各施設それぞれが少しずつ登録をしていただくようお願いしたい。

以上 文責：角田 萌

J-FALLS

『医療・介護を要する在宅患者の転倒に関する多施設共同
前向き研究』

モニタリングレポート 2010年9月～2010年10月

1. 研究管理情報

1-1 研究名

医療・介護を要する在宅患者の転倒に関する多施設共同前向き研究

Japanese prospective fall study in elderly patients under home nursing care.

1-2 研究責任者

独立行政法人 国立病院機構 東名古屋病院 第一神経内科医長 餐場 郁子

1-3 研究事務局

独立行政法人 国立病院機構 東名古屋病院 佐藤 みはる

1-4 統計解析責任者

愛知医科大学 医学部 公衆衛生学教授 玉腰 暁子

1-5 データ管理

責任者：独立行政法人 国立病院機構本部 総合研究センター 臨床研究統括部 伊藤 澄信

担当データマネジャー：独立行政法人 国立病院機構本部 総合研究センター 臨床研究統括部
データセンター 畠中 恵

1-6 研究日程

研究期間：2010年9月から2012年11月（画面入力完了を含む）

登録期間：2010年9月から2011年8月

追跡期間：2010年9月から2012年9月

1-7 報告期間

2010年9月1日～2010年10月31日

1-8 プロトコール改訂

2009年10月28日 (ver. 1.0)

2010年2月23日 (ver. 2.0)

2010年6月6日 (ver. 3.0)

2010年6月27日 (ver. 4.0)

1-9 手順書改訂

研究開始より改訂なし。

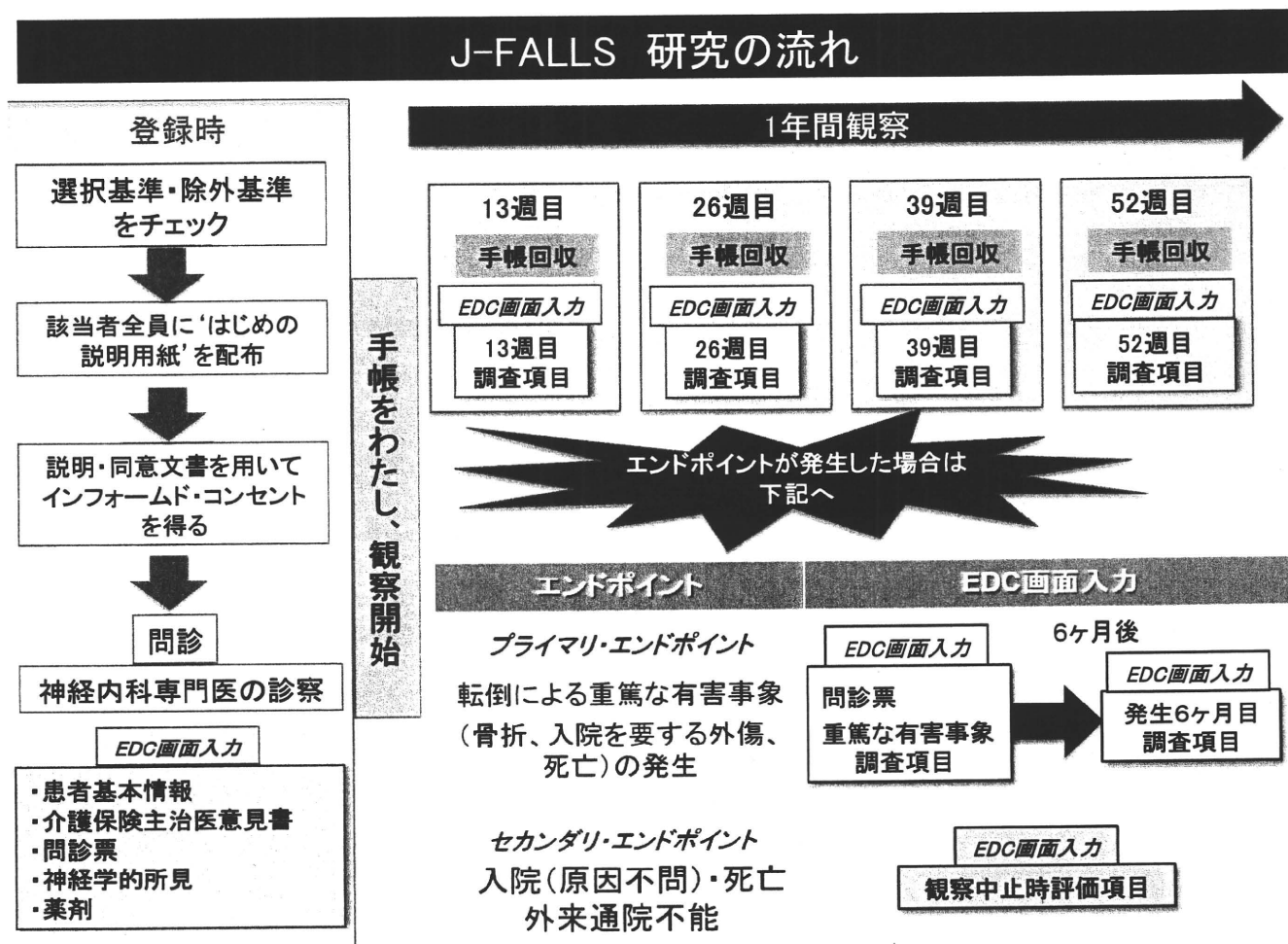
2. 研究概要

2-1 目的

運動機能や認知機能に問題があり、医療および介護を必要とする在宅患者の転倒の実態を明らかにし、患者・家族への指導や介護保険主治医意見書の改訂に寄与する。

2-2 シェーマ

Schema. 1 研究の流れ



2-3 対象

選択基準・除外基準：研究計画書参照

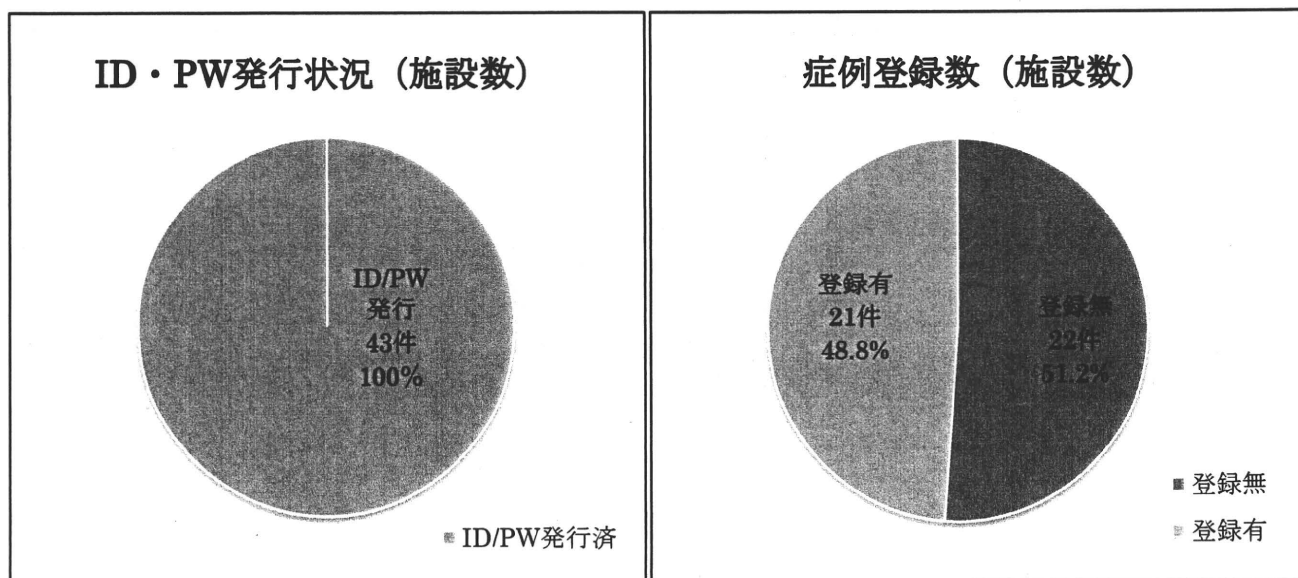
2-4 目標症例数

1300例 (参加施設：43)

3. 登録状況

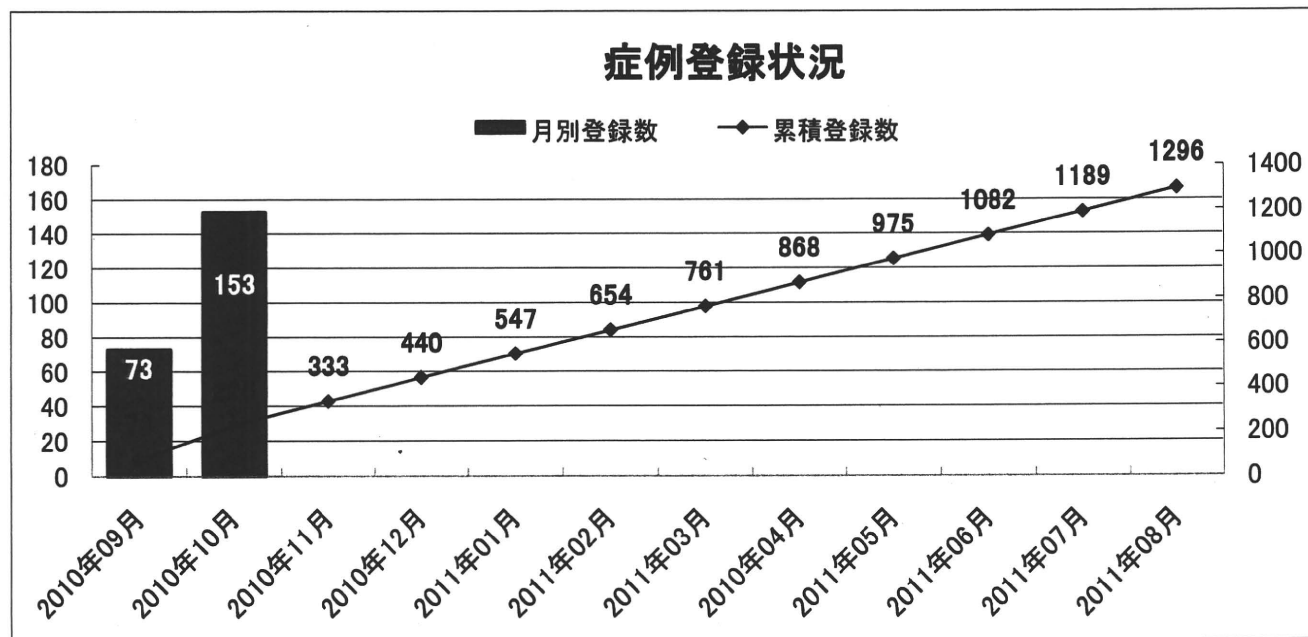
3-1 ID/PW 発行件数と症例登録状況

Schema. 2



3-2 症例登録状況（月別）と累計登録数

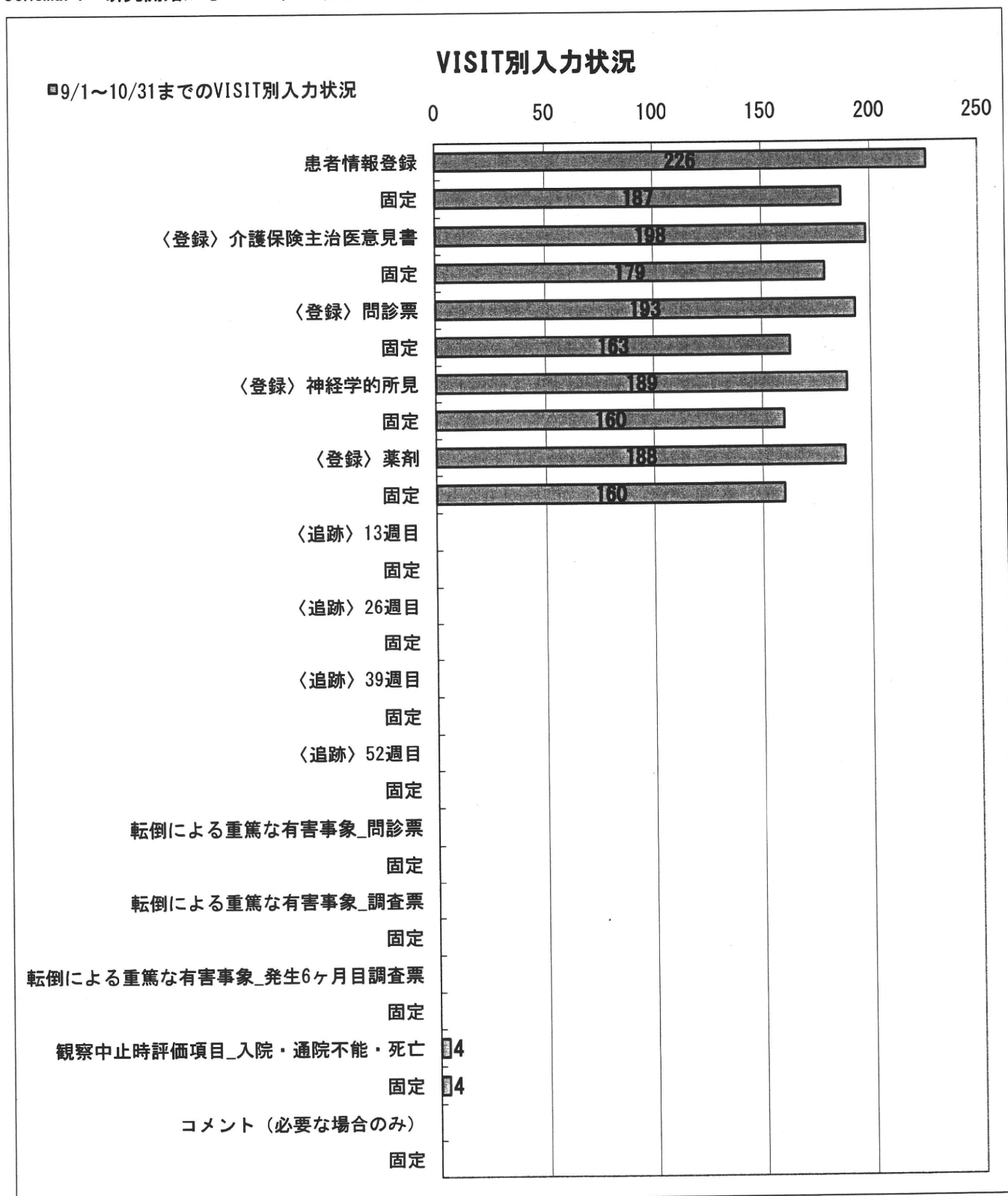
Schema.3



- (目標症例数) 1300 - (研究開始から10月までの症例数) 226 = (残目標症例数) 1074
 - (残目標症例数) 1074 ÷ (残登録期間) 10ヶ月 = (1ヶ月目標症例数) 107.4
 - (1ヶ月目標症例数) 107.4 ÷ (全施設数) 43 = (1施設当たり、1ヶ月当たりの目標症例数) 2.49...
- よって、残り10ヶ月間で1施設が毎月3名前後の登録を行うと目標症例数は達成となる。

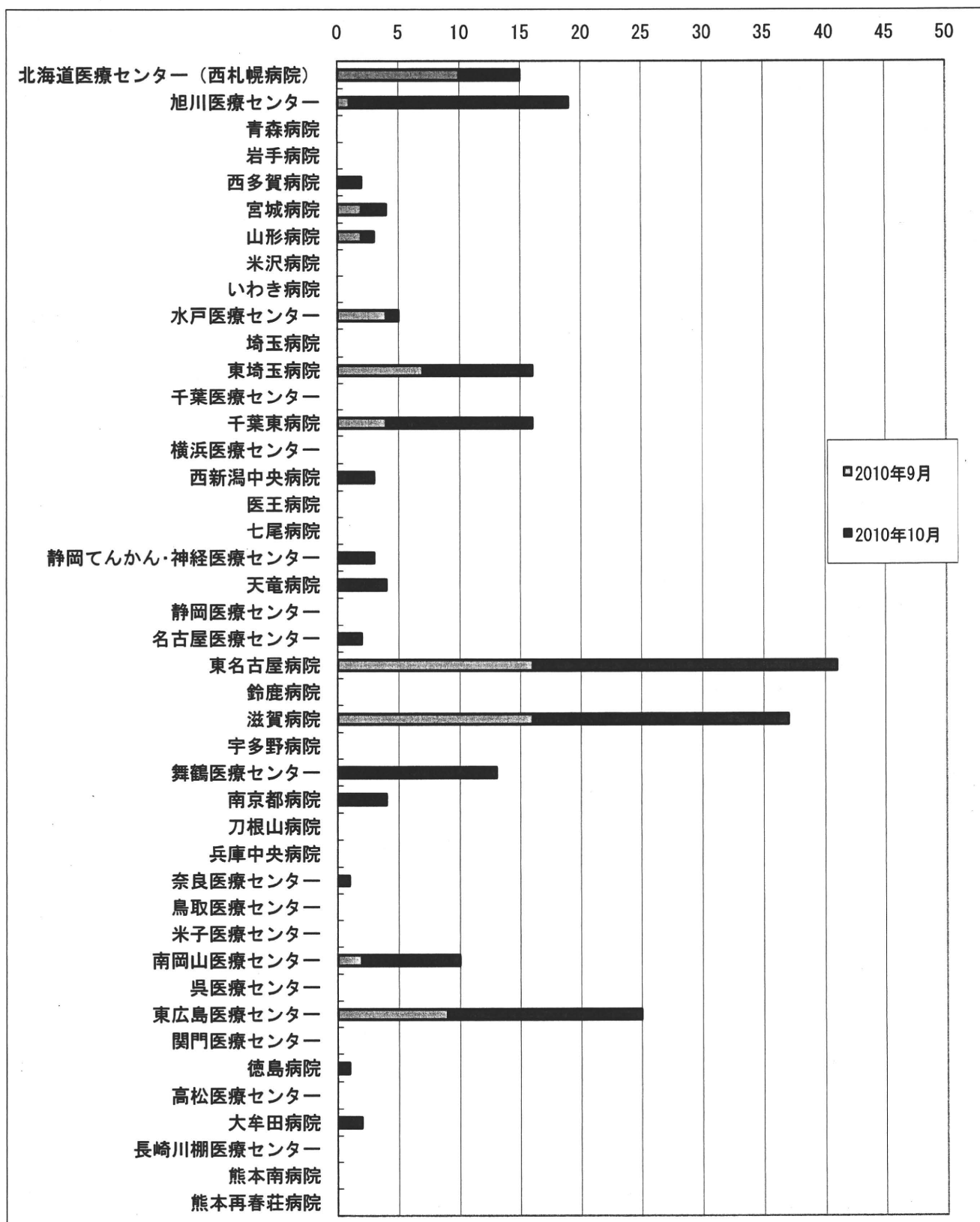
3-3 VISIT 別入力状況

Schema. 4 研究開始から 2010 年 10 月までの入力状況



3-4 施設別（月別）登録状況

Schema. 5 研究開始から2010年10月までの登録状況



3-5 施設別（月別）登録状況

Table.1 研究開始から2010年10月までの登録状況

施設名	2010年	
	9月	10月
北海道医療センター（西札幌病院）	10	5
旭川医療センター	1	18
青森病院	0	0
岩手病院	0	0
西多賀病院	0	2
宮城病院	2	2
山形病院	2	1
米沢病院	0	0
いわき病院	0	0
水戸医療センター	4	1
埼玉病院	0	0
東埼玉病院	7	9
千葉医療センター	0	0
千葉東病院	4	12
横浜医療センター	0	0
西新潟中央病院	0	3
医王病院	0	0
七尾病院	0	0
静岡てんかん・神経医療センター	0	3
天竜病院	0	4
静岡医療センター	0	0
名古屋医療センター	0	2
東名古屋病院	16	25
鈴鹿病院	0	0
滋賀病院	16	21
宇多野病院	0	0
舞鶴医療センター	0	13
南京都病院	0	4
刀根山病院	0	0
兵庫中央病院	0	0
奈良医療センター	0	1
鳥取医療センター	0	0
米子医療センター	0	0
南岡山医療センター	2	8
呉医療センター	0	0
東広島医療センター	9	16
関門医療センター	0	0

徳島病院	0	1
高松医療センター	0	0
大牟田病院	0	2
長崎川棚医療センター	0	0
熊本南病院	0	0
熊本再春荘病院	0	0
合計	73	153

4. 中止例

登録開始から 2010 年 10 月までの中止数：4 件

Table.2 中止理由

匿名化 ID	中止日	理由
032-JFA-000060	2010/10/5	入院:原疾患治療
032-JFA-000061	2010/10/29	入院:胃ろう増設の為
032-JFA-000105	2010/10/15	入院:他疾患治療
068-JFA-000139	2010/10/26	入院:合併症治療

5. 総括

データクリーニングに関するデータマネージャーからのコメント

研究開始から順調に登録数が伸びており、このままのペースでいけば早い段階で目標症例数に達すると思われる。

まだ登録を開始されていない施設については、研究事務局から周知が望まれる。

新規に EBM 研究に参加する施設も多く、画面の「登録」処理がされていない症例が多くみられるが、ロジカルチェックがかかるため、入力漏れや不整合が少なくきれいなデータが集まってきている。また、施設研究責任者以外にも研究に協力している施設研究者がおり、問合せに対する施設からの回答・反応が得られるようになった。この調子で研究が進むことを期待している。

以上 文責：畠中 恵

J-FALLS

『医療・介護を要する在宅患者の転倒に関する多施設共同
前向き研究』

モニタリングレポート 2010年11月～2011年2月

1. 研究管理情報

1-1 研究名

医療・介護を要する在宅患者の転倒に関する多施設共同前向き研究

Japanese prospective fall study in elderly patients under home nursing care.

1-2 研究責任者

独立行政法人 国立病院機構 東名古屋病院 第一神経内科医長 餐場 郁子

1-3 研究事務局

独立行政法人 国立病院機構 東名古屋病院 佐藤 みはる

1-4 統計解析責任者

愛知医科大学 医学部 公衆衛生学教授 玉腰 暁子

1-5 データ管理

責任者：独立行政法人 国立病院機構本部 総合研究センター 臨床研究統括部 伊藤 澄信

担当データマネジャー：独立行政法人 国立病院機構本部 総合研究センター 臨床研究統括部
データセンター 畠中 恵

1-6 研究日程

研究期間：2010年9月から2012年11月（画面入力完了を含む）

登録期間：2010年9月から2011年8月

追跡期間：2010年9月から2012年9月

1-7 報告期間

2010年11月日～2011年2月28日

1-8 プロトコール改訂

2009年10月28日 (ver. 1.0)

2010年2月23日 (ver. 2.0)

2010年6月6日 (ver. 3.0)

2010年6月27日 (ver. 4.0)

1-9 手順書改訂

研究開始より改訂なし。

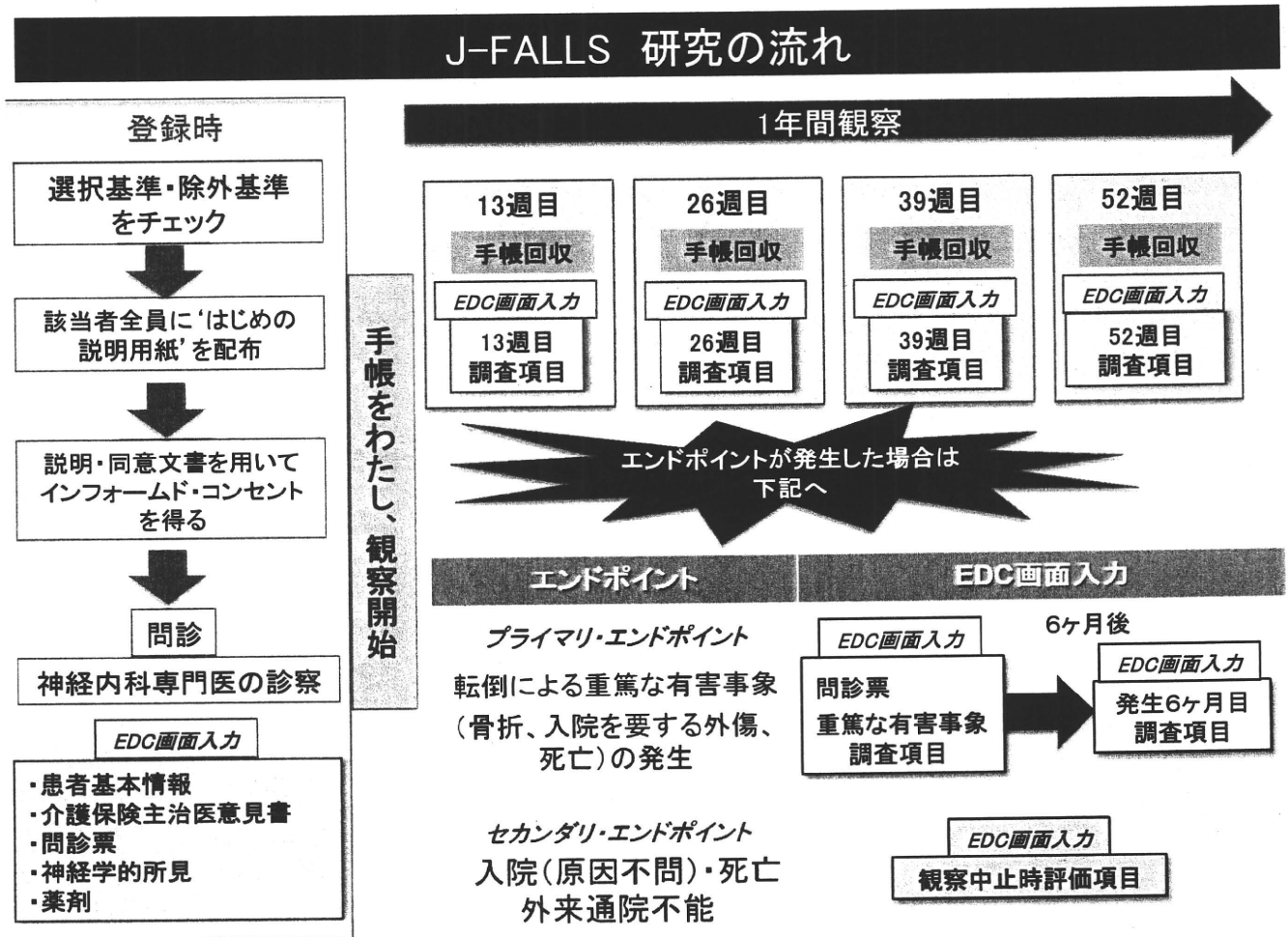
2. 研究概要

2-1 目的

運動機能や認知機能に問題があり、医療および介護を必要とする在宅患者の転倒の実態を明らかにし、患者・家族への指導や介護保険主治医意見書の改訂に寄与する。

2-2 シェーマ

Schema. 1 研究の流れ



2-3 対象

選択基準・除外基準：研究計画書参照

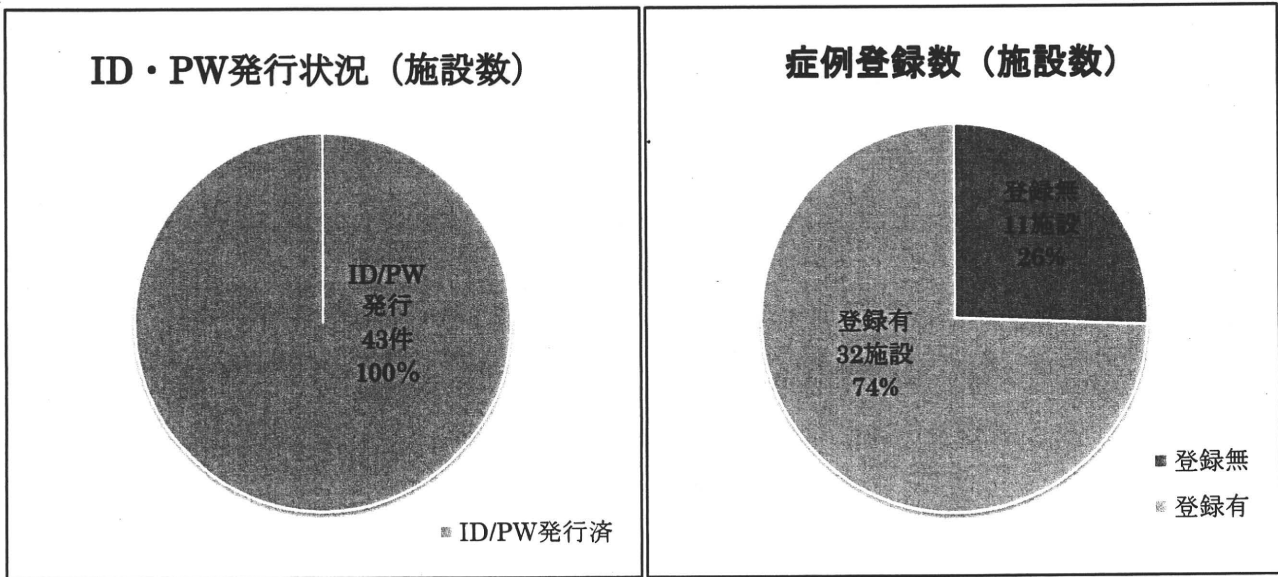
2-4 目標症例数

1300例 (参加施設：43)

3. 登録状況

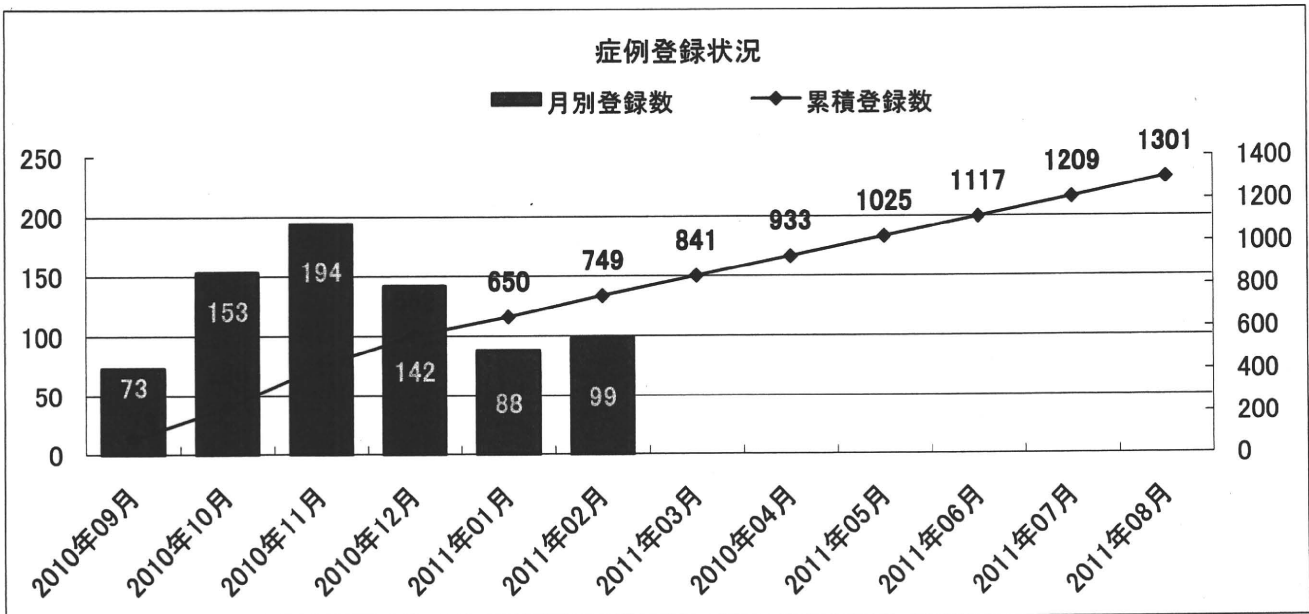
3-1 ID/PW 発行件数と症例登録状況

Schema. 2



3-2 症例登録状況（月別）と累計登録数

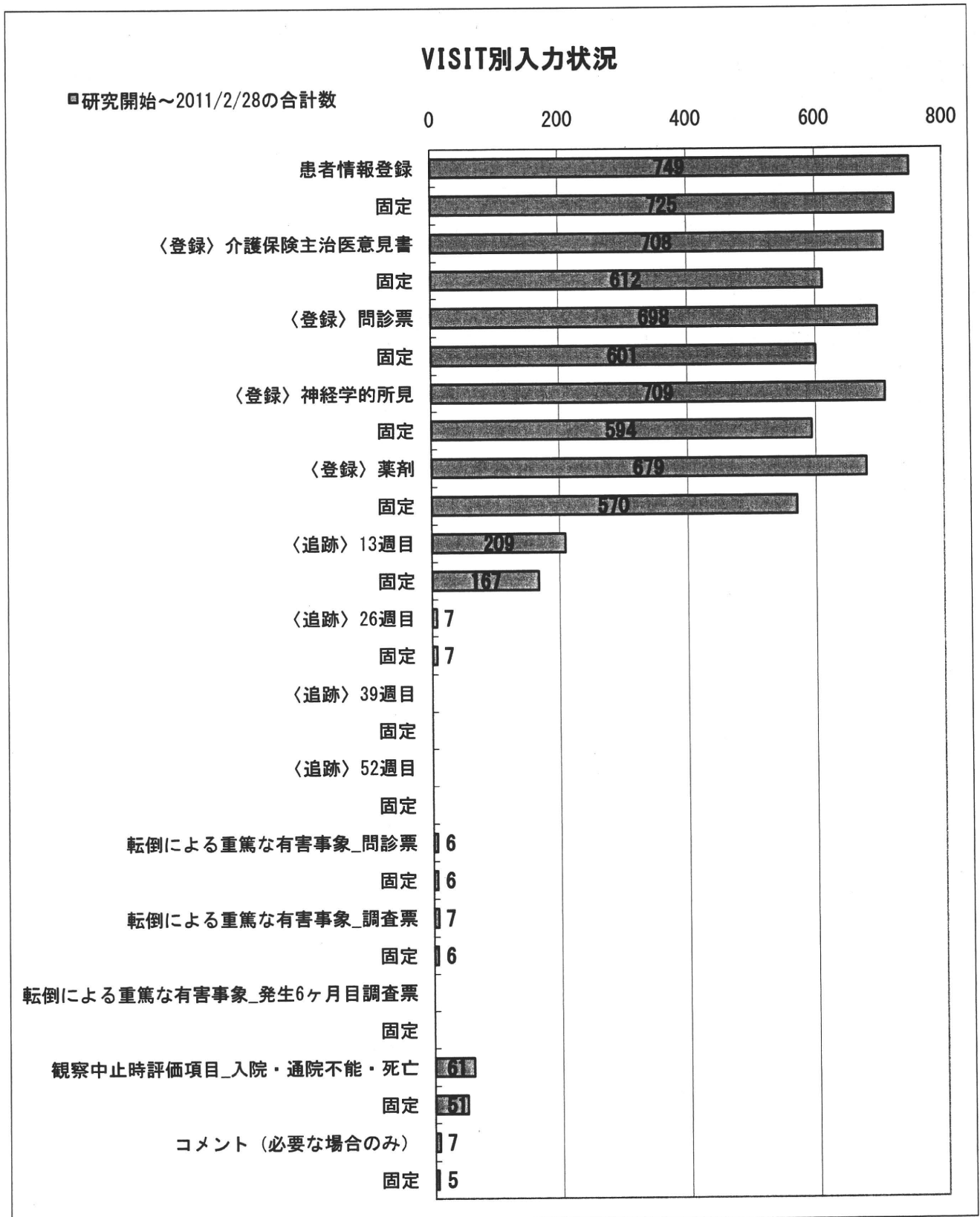
Schema.3



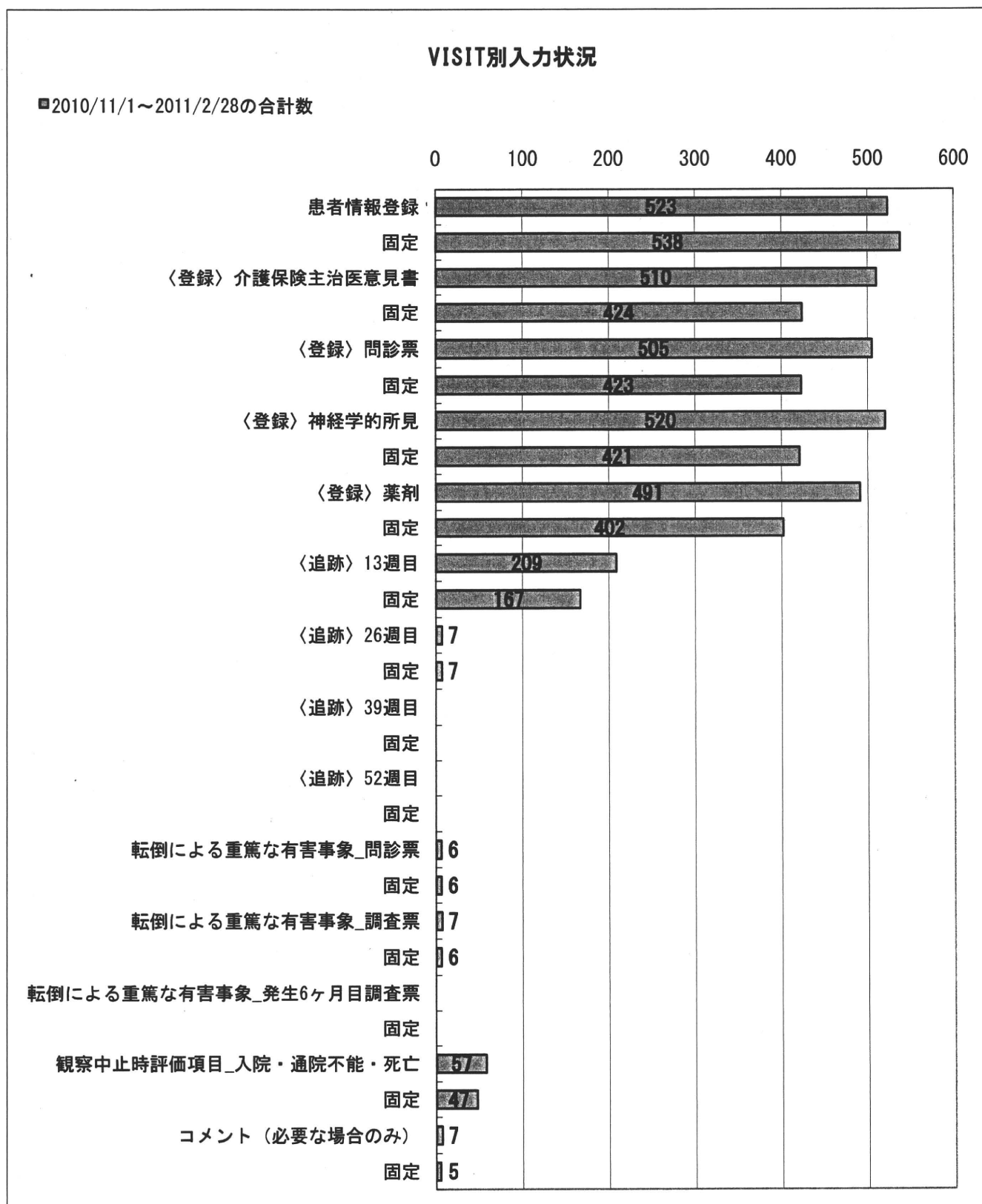
- (目標症例数) 1300 - (研究開始から2月までの症例数) 749 = (残目標症例数) 551
 (残目標症例数) 551 ÷ (残登録期間) 6ヶ月 = (1ヶ月目標症例数) 91.8
 (1ヶ月目標症例数) 91.8 ÷ (全施設数) 43 = (1施設当たり、1ヶ月当たりの目標症例数) 2.13…
 よって、残り6ヶ月間で1施設が毎月2名前後の登録を行うと目標症例数は達成となる。

3-3 VISIT 別入力状況

Schema. 4 研究開始から 2011 年 2 月までの入力状況



Schame. 5 2010年11月から2011年2月までの入力状況



3-4 施設別（月別）登録状況

Schema. 6 2010年11月から2011年2月までの登録状況

